

会議概要

会議名 : 令和5年度第1回益田市入札・契約適正化委員会
日時 : 令和5年6月8日(木) 13:15~
場所 : 益田市市民学習センター1階104号室
委員 : 林 秀司(大学教授)、田中秀樹(弁護士)
大野利昭(税理士)、前田邦男(学識経験者)
出席者 : 委員4名、事務局2名

議事

(1) 令和4年度入札結果状況について

入札結果の比較

令和3年度 入札結果

入札件数 工事関係

総合評価	7 件
一般競争入札	1 件
簡易一般競争入札	87 件
指名競争入札	170 件
その他	件
小計	265 件

入札件数 物品関係

総合評価	件
一般競争入札	9 件
簡易一般競争入札	件
指名競争入札	108 件
小計	117 件

入札件数 合計	382 件
---------	-------

令和4年度 入札結果

入札件数 工事関係

総合評価	10 件
一般競争入札	件
簡易一般競争入札	70 件
指名競争入札	192 件
その他	件
小計	272 件

入札件数 物品関係

総合評価	件
一般競争入札	12 件
簡易一般競争入札	件
指名競争入札	126 件
小計	138 件

入札件数 合計	410 件
---------	-------

予定価格・落札金額 工事関係

予定価格	3,895,377,000 円
落札金額	3,370,310,000 円
総落札率	86.52%

予定価格・落札金額 工事関係

予定価格	3,293,342,800 円
落札金額	3,155,190,000 円
総落札率	95.81%

予定価格・落札金額 物品関係

予定価格	208,205,169 円
落札金額	180,581,327 円
総落札率	86.73%

予定価格・落札金額 物品関係

予定価格	568,575,418 円
落札金額	503,170,781 円
総落札率	88.50%

予定価格・落札金額 合計

予定価格	4,103,582,169 円
落札金額	3,550,891,327 円
総落札率	86.53%

予定価格・落札金額 合計

予定価格	3,861,918,218 円
落札金額	3,658,360,781 円
総落札率	94.73%

低入札調査等

最低制限失格	29	件
	36	者

低入札調査等

最低制限失格	13	件
	19	者

低入札	2	件
	2	者

低入札	0	件
	0	者

数値的判断基準失格	2	件
	2	者

数値的判断基準失格	0	件
	0	者

低入札調査失格	0	件
	0	者

低入札調査失格	0	件
	0	者

低入札での契約	0	者
---------	---	---

低入札での契約	0	者
---------	---	---

1 令和4年度の発注件数・発注金額について

令和4年度の益田市の入札状況としては、前年度と比べ、建設工事関係の入札件数は微増で金額は減少し、物品関係の入札件数は増加し、金額は大幅に増加した。建設工事関係の入札を過去5年で比較すると、件数は過去最大で金額は2番目であった。要因として、件数は、不調・不落による再入札が多かったことが影響した。金額は、大きい工事として約8.5億円の益田広域消防本部庁舎建設工事（建築主体（庁舎棟））があったが、前年度に久城が浜センター施設基幹的設備改良工事の設計額約14億円、落札金額約10億円があり、その影響で前年より減少した。

物品・役務の提供関係では、件数は、消防保安用品・リース契約の入札が多く、金額は、約1.7億円の益田市立中学校教育用コンピュータシステム更新業務（リ

ース対象物件)の大きな案件があったため、入札件数・金額とも大幅な増加となった。

2 令和4年度の落札率について

【委員】令和4年度において、工事関係の入札件数は前年度よりやや多かったが、工事金額は少なく、落札率が大幅に高い理由は何か。

【事務局】工事関係の落札率は、前年に比べると大幅に上昇したが、前年度に金額の大きい久城が浜センター施設基幹的設備改良工事の落札率が70.84%であったため、それを除くと前年度は94.82%となり、過去5年で比較すると、平均的な水準であった。物品関係の落札率は、前年に比べるとわずかに上昇したが、過去5年で見ると大きな差異はなかった。

3 最低制限価格失格について

最低制限価格失格については、前年より発生した件数・業者数ともに減少した。過去5年で見ても、最も少なかった。

低入札については、発生しなかった。

4 入札の不調・不落について

【委員】令和4年度の建設工事指名競争入札に入札不調・不落件数が非常に多いのはどうしてか。また、どう対処したのか。今後の対応として何か考えはあるか。

【事務局】前年度に比べて、不調・不落の件数は46件から58件と増加した。原因別にみると、応札者なしが32件、予定価格超過が18件、内訳書失格が5件、最低制限価格失格が3件であった。工種別でみると、土木一式工事が26件と最も多く、次にとび・土工・コンクリートが7件だった。傾向として、予定価格が500万円以下の土木系の工事で応札者がなく不調となった入札が23件あった。

不調・不落件数が増えた要因として、益田市の建設業界は、高齢化により従業員の数人が減ってきて、落札しても作業する人がいないため、建設工事にかかる入札全体の応札者数が減っている。

また、国・県・自治体は、年度初めに公共工事の発注見込みを公表しているため、業者はあらかじめ受注したい工事を選別して応札していると思われ、結果、費用が安く、利益が出にくい工事は敬遠されやすい可能性がある。

今のところ再入札や随意契約で対応しているが、この問題は建設業界の従業員の減少という構造的な問題であるため、長期的ではあるが、工事の週休二日制の普及などの働き方改革によって、建設業界で働く人を増やしていく施策を進めていきたい。

【委員】特に災害復旧工事がなかなか終わらない状況だと聞いて、また同じところ

で災害が発生したらと懸念している。

【事務局】最近、作業員や技術者が足りてないことを理由に工期延長を求めるケースが増えている。

(2) 抽出案件の審議（令和4年度下半期10月～3月分）

建設工事：総合評価方式一般競争入札（3件）

①益田運動公園陸上競技場舗装改修工事（1001）

【事務局】この工事は、益田陸上競技場が日本陸上競技連盟第2種公認の陸上競技場で、令和4年度末に公認期間が満了となるため、次期公認の取得に向けて改修を行うもので、公認継続に必要となる、全天候舗装等改修、内圏縁石の調整、レーン・マーキング・表示タイルの設置を行う。

入札参加資格として、許可業種は、舗装工事業。営業所所在地は、益田市建設業有資格者名簿に登録され、建設業法に規定する営業所を中国地方、九州地方、四国地方又は近畿地方に有する者。総合点数は、舗装工事の総合点数が800点以上。施工実績は、中国地方の地方自治体が発注した公共工事において、元請として過去15年間に日本陸上競技連盟公認の第2種以上の陸上競技場の検定に係るポリウレタン系全天候型舗装における、1契約1,000㎡以上の施工実績があること。ただし、共同企業体としての施工の場合は、出資比率が20パーセント以上であって、かつ、契約金額の出資比率相当分が1,000㎡以上。配置技術者は、監理技術者又は主任技術者として1級土木施工管理技士、1級建設機械施工技士、技術士又は国土交通大臣認定者のいずれかを専任で配置できること。

入札状況について

本件入札には、調査基準価格（38,100,000円）が設定されている。

益田市建設工事総合評価方式実施要綱第3条第1項第1号の規定による特別簡易型総合評価方式で入札を実施した。

4者の申請・応札があり、1者が予定価格超過、3者が予定価格以下、調査基準価格以上の応札であった。総合評価を実施し、長谷川体育施設(株)山陰営業所を益田市競争参加資格審査会において落札者とした。

【委員】他の総合評価と比べて落札率が低かったことと、参加者数が4者であることで選定した。

【事務局】この工事は、陸上競技場の2種検定に係る改修工事で特殊であり、過去の実績から市内業者では難しいため、業者の営業所所在地を西日本までとした。

そのことで、結果として4者参加し、落札率が低くなったことに影響を与えたと考えられる

【委員】参加した業者の所在地はどこだったか。

【事務局】 松江市の業者が2者、福岡県の業者が1者、大阪府の業者が1者であった。

【委員】 2種の陸上競技場の公認期間はどのくらいか。

【事務局】 5年間である。

【委員】 具体的にどこを改修したのか。

【事務局】 走路全体の舗装改修と認定に必要な設備の計測を行った。

【委員】 今回の入札参加資格に係る工事の総合点数について、なぜ800点以上としているのか。

【事務局】 市の建設工事一般競争入札取扱方針によって、設計額5千万円以上の舗装工事は、総合点数800点以上と定めていて、当初設計額を6千万円程度で見込んでいた。告示後に仕様の誤りが判明し、仕様を見直した結果、設計額が1千万円以上減額となったが、引き続き従前の資格要件で入札することが決まったため。

【委員】 事前に業者は、自分たちの総合点数が800点以上であると分かるのか。

【事務局】 公共工事の入札に参加するためには、経営事項審査というものを受ける必要があり、その中の総合評価値が、基本的に業者の総合点数となる。

【委員】 今回の入札において、総合評価方式の評価項目はどのようなものか。

【事務局】 舗装工事の実績、工事成績、優良工事表彰、地域貢献の項目として市内下請や市内産資材等があった。

【委員】 改修が必要な箇所は市が調べるのか。

【事務局】 日本陸上競技連盟による事前調査で、認定を受けるために必要な改修箇所を指摘してもらい、その調査を基に市が改修工事の設計を行い、予定価格も決まる。

【委員】 今回の工事は、全面改修ではないのか。

【事務局】 認定に必要な最低限の改修を行った。

②益田市堆肥センター整備（建築）工事（1002）

【事務局】 この工事は、畜産農家の規模拡大に伴い、飼育頭数が増加傾向にあり、現行の堆肥舎の規模では春から夏にかけて、堆肥が滞留している状況であった。その結果、堆肥センターに持ち込めない糞尿処理を自ら行う必要があり、その労力が畜産経営の規模拡大や、生産性向上の足かせ、新規就農者の経営の妨げとなっていた。また、堆肥センターの中核機能である攪拌機が耐用年数を大幅に超えており、老朽化に伴って堆肥製造工程がストップする懸念がある。このため、攪拌機能を有する堆肥舎の整備を行い、畜産農家の堆肥処理に伴う負担軽減、堆肥の安定生産による循環型農業を推進する。

入札参加資格として、許可業種は、建築工事業、営業所所在地は、益田市建設業有資格者名簿に登録され、建設業法に規定する営業所を益田市内に有する者であって、益田市内に主たる営業所を有するもの。総合点数は、建築一式工事の総合点数が700点以上。施工実績は、元請として過去15年間に1契約

2, 500万円以上の完成した建築一式工事の施工実績があること。ただし、共同企業体としての施工の場合は、出資比率が20パーセント以上で、契約金額の出資比率相当分が2, 500万円以上。配置技術者は、監理技術者又は主任技術者として1級建築士若しくは2級建築士、1級建築施工管理技士若しくは2級建築施工管理技士（建築）又は国土交通大臣認定者のいずれかを専任で配置できること。

入札状況について

本件入札には、調査基準価格（42, 100, 000円）が設定されている。

益田市建設工事総合評価方式実施要綱第3条第1項第1号の規定による特別簡易型総合評価方式で入札を実施した。

2者の申請応札があり、1回目の入札で全者予定価格超過、2回目の入札で1者が辞退、1者が予定価格以下、調査基準価格以上の応札であった。総合評価を実施し、大栄建設(株)を益田市競争参加資格審査会において落札者とした。

【委員】入札業者2者のうち1者が辞退した経緯と入札のプロセスを確認したいので選定した。

【事務局】1回目は応札して2回目で辞退しているので、価格が折り合わなかったものと推察される。予定価格は、物価高騰を考慮して最新の単価を使って積算したが、入札までに3か月程度時間差があり、その間も特に金属の材料の単価が上がり続けている状況であった。

【委員】入札参加可能な業者は何者いたのか。

【事務局】全部で14者いた。

【委員】この堆肥舎は、市が建設して管理もするのか。

【事務局】市は補助金等を活用して建設し、管理・運営は農事組合法人益田市堆肥センターに委託している。

③益田広域消防本部庁舎建設（建築主体（庁舎棟））工事（1003）

【事務局】この工事は、益田広域消防本部庁舎が建設以来本年度で50年を迎えており、庁舎は著しく老朽化、狭隘化し、さらに、バリアフリーの対応や女性が働きやすい環境の整備が必要となっている。また一方で、高齢化、核家族化等の生活環境の変化に伴う救急需要の増加や複雑多様化する災害への迅速な対応が求められるなど、消防の果たすべき役割はますます増大している。住民の負託に応え、消防の任務を果たすためには、更なる消防力の充実強化が必要であり、地域の特性に即した防災・災害活動拠点施設の整備が必要であるため新庁舎を建設する。

本工事対象である庁舎棟は2階建てであり、1階部分は主に執務スペースとして、本部・署の事務所、出動準備室、その他応接室や書庫倉庫を配置し

ている。2階部分は主に生活スペースとして完全個室の仮眠室、シャワー・トイレ・仮眠室一体型の女性専用スペースなどを配置していて、また、多目的会議室、小会議室も備えている。

入札参加資格として、3者による甲型共同企業体（共同施工方式）とした。

○共同企業体の代表者

営業所所在地は、益田市建設業有資格者名簿、津和野町建設工事等入札参加資格者名簿、吉賀町工事入札参加資格者名簿に登録され、建設業法に規定する営業所を益田市内又は鹿足郡内に有する者であって、以下のいずれかに該当するもの。

- 1 益田市内に主たる営業所を有する者又は準市内業者の認定を受けた者
- 2 鹿足郡内に主たる営業所を有する者

総合点数は、直近の経営事項審査結果通知書で建築一式工事の総合評定値が850点以上。施工実績は、島根県内の公共工事において、元請として過去15年間に1契約5,000万円以上の建築一式工事を施工した実績があること。ただし、共同企業体としての施工の場合は、出資比率が20パーセント以上で、出資比率相当分が5,000万円以上。配置技術者は、監理技術者又は主任技術者として、1級建築士、1級建築施工管理技士又は国土交通大臣認定者を専任で配置できること。

○共同企業体の構成員

営業所所在地は、益田市建設業有資格者名簿、津和野町建設工事等入札参加資格者名簿、吉賀町工事入札参加資格者名簿に登録され、建設業法に規定する営業所を益田市内又は鹿足郡内に有する者であって、以下のいずれかに該当するもの

- 1 益田市内に主たる営業所を有する者又は準市内業者の認定を受けた者
- 2 鹿足郡内に主たる営業所を有する者

総合点数は、直近の経営事項審査結果通知書で建築一式工事の総合評定値が700点以上。施工実績は、建築一式工事を施工した実績があること。配置技術者は、配置技術者として主任技術者として1級建築士、1級建築施工管理技士又は国土交通大臣認定者を専任で配置できること。

入札状況について

本件入札には、調査基準価格（787,600,000円）が設定されている。

益田市建設工事総合評価方式実施要綱第3条第1項第2号の規定による簡易型総合評価方式で入札を実施した。

2者の申請・応札があり、2者とも予定価格以下、調査基準価格以上の応札であった。総合評価を実施し、大畑建設・森本建設・高橋建設特定建設工事共同企業体を益田市競争参加資格審査会において落札者とした。

【委員】 予定価格が高額であり、総合評価の検証をしたいこと、総合評価の評価項目について、恣意的になっていないか確認したいため選定した。

【事務局】 この工事は、鹿足郡の業者も入札参加できるので、益田市の業者が有利にならないように評価項目を配慮した。例えば、工事成績及び優良工事表彰について、鹿足郡発注の工事では規定がないため、公平を期すため、益田市の工事成績及び優良工事表彰については総合評価の対象外とし、国・県の公共工事のみを対象とした。そして、他地域の消防庁舎工事は一括発注がほとんどであるが、益田広域消防庁舎工事は、より多くの業者が入札参加できるように分割発注することとしている。

【委員】 共同企業体が入札参加条件となっているが、意図があるのか。

【事務局】 益田市及び鹿足郡の建設業者は中小規模なので、一企業では受注できない規模の工事を複数の建設業者の共同企業体で行うことによって、大規模な工事を受注することができるようにするために設定した。

建設工事：（簡易型）一般競争入札（1件）

④公共下水道駅南工区汚水管路工事（その1）（1101）

【事務局】 この工事は、益田市の公共下水道事業が現在、市街地のほぼ全体を区域とする益田処理区（1,119ha）のうち、益田川と高津川との間に位置する本市の中心市街地を形成する本町処理系統（497ha）を第一次整備区域として進めている。本工事はそのうち、駅前町及び赤城町の一部区域を整備するものであり、本町処理系統区域の下水道の普及を促進することにより、快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図ることを目的とする。

本工事は、道路内に汚水管路（φ250mm及びφ150mm）を開削工法及び推進工法により埋設するものである。

入札参加資格として、許可業種は、土木工事業、営業所所在地は、益田市建設業有資格者名簿に登録され、建設業法に規定する営業所を益田市内に有する者であって、益田市内に主たる営業所を有するもの。総合点数は、土木一式工事の総合点数が750点以上。施工実績は、島根県内における公共工事において元請として過去15年間に1契約2,000万円以上の完成した土木一式工事の施工実績があること。ただし、共同企業体としての施工の場合は、出資比率が20パーセント以上で、契約金額の出資比率相当分が2,000万円以上。配置技術者は、監理技術者又は主任技術者として1級若しくは2級土木施工管理技士、1級若しくは2級建設機械施工技士、技術士、国土交通大臣認定者のいずれかを専任で配置できること。

入札状況について

本件入札には、最低制限価格（39,900,000円）が設定されている。

益田市建設工事等簡易型一般競争入札実施要綱第3条第1項による簡易型一般競

争入札で入札を実施した。

1 者の申請・応札があり、予定価格以下、最低制限価格以上で、最低価格での応札をした東西建設(有)を益田市競争参加資格審査会で落札者とした。

【委員】比較的予定価格が大きく、単独入札であること、落札率が高いため選定した。

【事務局】この工事は、各家庭で出た汚水を幹線に送るための管路の工事であり、管路工事としては標準的な工事だが、推進工が特殊な工法であること、駅前周辺や県道を跨る工事なので、業者にとって施工が困難と考えられる。

そして、推進工がある工事は、一般的な土木工事に比べて落札率が高くなる傾向があるが、今回の工事は、他の下水道工事と比べて推進工による施工が多くなかったため、落札率が低くなっていた。

【委員】工事の難易度が高いために入札の参加が少ないのか。

【事務局】推進工は特殊な工法であるが、専門の下請業者に任せることもできる。それよりも、交通量が多く建物や他の管などが密集している施工場所の問題かもしれない。

【委員】下水道事業に係る工事はいつまで行うのか。

【事務局】期間は決まっていないが、令和8年度までの計画はある。

建設工事：随意契約（1件）

⑤令和4年発生 災害関連緊急大規模漂着流木等処理工事（1406）

【事務局】この工事は、令和4年台風第14号豪雨により発生した、漁港海岸への大規模漂着物の処理工事を行うものである。

市内4漁港海岸において、流木等が大規模に漂着しており、漁業従事者や海岸利用者の安全を妨げている状況であり、早急に対応する必要がある。

以上の理由から、地方自治法施行令第167条の2第1項第5号による随意契約とした。

入札状況について

随意契約であるので、最低制限価格の設定はされていない。

金額要件を満たし、かつ、工事施工場所の近隣に事務所を有している5者を選定し、見積り合わせの結果、最低価格であったので、(有)益田基礎工業と随意契約した。

【委員】随意契約であるにも関わらず、入札参加業者が5者となっている理由を確認したいため選定した。

【事務局】今回の工事は、緊急性を伴い入札を行う時間的余裕がないため、随意契約とした。なお、同様な被害を受けた県が管理している漁港海岸も、入札せずに年間で業務委託している業者に発注している。

そして、漂着物の収集・運搬で重機を使用し、天候を確認しながらの作業となるため、作業効率が良い現場に近い業者で、高度な技術を要しないので、現場に近い5者の業者による見積り合わせとした。

【委員】見積額に差はあったのか。

【事務局】契約額が1,587万円で一番高い見積り額は、1,700万円であった。

【委員】工事現場はどこか。

【事務局】津田漁港、木部漁港、土田漁港、小浜漁港である。

建設コンサルタント：指名般競争入札（2件）

⑥益田川左岸南部地区土地区画整理事業計画街路街区計算測量業務委託（2304）

【事務局】この業務は、区画整理事業の計画図を基に、大きな道路に囲まれた街区の土地について、工事を行うための調査を行う業務である。

指名業者は、市内測量業者で測量士が2名以上、かつ、測量士、測量士補を3名以上雇用する者を14者選定。

入札状況について

本件入札には、調査基準価格（5,848,000円）が設定されている。

13者より応札があり、3者が予定価格超過、10者が予定価格以下、調査基準価格以上で最低価格の応札があった、(株)三建技術が落札者となった。

【委員】比較的高額で指名も参加者も多く、地元業者が競合する業務の落札率が高いように見えるため選定した。

【事務局】区画整理事業は特殊な業務なので、測量に係る数量計算は、他の地域の区画整理事業で用いた歩掛を参考に独自の積算で行ったため、業者にとっては積算しにくく、結果として落札率が高くなった可能性がある。

⑦三隅・益田道路津田町跨道橋市道津田上遠田線配水管移設設計業務委託（2312）

【事務局】この業務は、三隅・益田道路津田町跨道橋の施工に支障となる配水管の移設設計を行う。

指名業者は、浜田市以西に営業所を有する者で建設コンサルタント（上水道及び工業用水道）に登録があり、管理技術者及び照査技術者として技術士法に基づく技術士、RCCM又は大臣認定を有する技術者を各々配置できる者を13者選定。

入札状況について

本件入札には、調査基準価格（6,013,000円）が設定されている。

12者より応札があり、1者が予定価格超過、11者が予定価格以下、調査基準価格以上で最低価格の応札があった、中日本建設コンサルタント(株)島根事務所が落

札者となった。

【委員】建設コンサルタント業務の中で落札率が低かったことと、参加業者が多かったことで選定した。

【事務局】水道施設に係る業務委託は専門知識が必要で、委託可能な市内業者は少ないため、近隣市町の業者も指名している。予定価格は、基本的に公共単価を基に積算しているが、水道施設の移設に係る設計は、通常の設計と歩掛が異なるので、補正係数を算出するために参考見積を行った。他の業務と比べて落札率が低いのは、道路自体の設計も関連するので、もし重複する業務があれば、費用を抑えることができる可能性が推察できる。

建設コンサルタント：随意契約（1件）

⑧益田広域消防本部庁舎建設工事監理業務委託（2402）

【事務局】この業務は、基本設計から実施設計までに携わり、設計コンセプトや工事内容を熟知しており、指導伝達等適正な監理業務を行うことが期待できる。

以上の理由から、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号による随意契約とした。

入札状況について

随意契約であるので、最低制限価格の設定はされていない。

見積りを徴し、予定価格以下であったので、(有)一級建築士事務所ヤマシタ設計と随意契約した。

【委員】建設コンサルタント業務で金額が大きかったことと、なぜ随意契約としたのかを確認するため選定した。

【事務局】契約業者は、令和3年度に公募型プロポーザルで「益田広域消防本部庁舎建設設計業務委託」を請負、基本設計から実施設計まで携わっている。そのため、庁舎の設計コンセプトや工事内容を細部にわたり熟知していることから、工事請負業者へ設計内容に基づくデザイン意図の伝達、工事内容の指導伝達等適正な監理業務ができると判断した。

【委員】契約した業者に建築士は何人いるのか。

【事務局】市に提出された入札参加申請によると、一級建築士が3名、二級建築士が1名となっている。

【委員】本庁舎以外の設計と監理はどの業者が行ったのか。

【事務局】設計については、消防庁舎全体のコンセプトに関わることから、契約業者に一括で発注していて、監理も同様に一括で委託している。

【委員】契約手続き上、特に問題はない。

物品調達：指名競争入札（1件）

⑨ごみの分別大図鑑作成業務（3302）

【事務局】この業務は、市民にごみの分別等に協力してもらうため、益田市ごみ分別大図鑑を定期的に改訂し、市内全戸配布分を作成する。

指名業者は、市内に営業所を有し、物品調達大分類「印刷・製本類」小分類「印刷」に登録がある業者を9者選定。

入札状況について

本件入札には、最低制限価格は設定されていない。

5者より応札があり、全者が予定価格以下で、最低価格の応札であった、たど印刷が落札者となった。

【委員】落札率がかなり低く、適正な予定価格が設定されていたのかを確認するために選定した。

【事務局】前回改訂したのが、平成24年度で約10年ぶりの改訂版の作成であった。予定価格は、2者の参考見積の平均単価を元に積算していて、落札率は低かったが、納品された成果物の品質に問題はなかった。

【委員】予定価格が設定に問題はないのか。

【事務局】2者から参考見積をとり、その見積に大きな差異がなかったので、予定価格自体に問題があるとは考えていない。落札金額が、他の参加業者の応札金額に比べて極端に安い金額だった。

【委員】紙質は指定されていたのか。

【事務局】仕様書で紙質を指定していた。

【委員】ごみの分別大図鑑は毎年配布するのか。

【事務局】改訂した時だけ、市内全戸に配布する。

【委員】前回の改訂したときと同じ業者が落札したのか。

【事務局】今回落札したのは、前回とは別の業者であった。

業務委託：指名競争入札（6件）

⑩安田小学校（種地区）スクールバス運行業務委託（4306）

⑪中西小学校（内田地区）スクールバス運行業務委託（4307）

【事務局】この案件は、種地区から安田小学校へ通学する児童と、内田地区から中西小学校へ通学する児童を送迎するために、令和5年4月1日から令和6年3月31日の間に運行するスクールバス運行業務である。

指名業者は、市内に営業所を有し、大分類「運送」、小分類「旅客運送」に登録があり、「一般貸切旅客自動車運送事業」の許可を受けている業者を4者選定。

入札状況について

本件入札には、最低制限価格は設定されていない。

1者より応札があり、予定価格以下であった、(有)浜田交通益田営業所が落札者となった。

【委員】同種の業務について、同一業者が落札しているのに、地区によって落札率が大幅に異なる原因を確認するために選定した。

【事務局】担当課は、地図等を使って運行距離と時間を積算し、予定価格を設定したが、落札した業者は、前年の業務委託も請負っていて、現場に精通しているため、より精緻な積算ができる可能性があり、同じ業務でも地区によって落札率に差が出たと考えている。しかも、毎年スクールバスを利用する子どもの入学卒業転入転出によって、運行状況が変わるので、同じ地区でも予定価格は変動する。

【委員】1者しか応札がなかったのはなぜか。

【事務局】辞退した業者に確認してはいないが、年間運行日数が多いので、ドライバー等人員不足が影響しているかもしれない。

【委員】運行するバスの種類は考慮しているのか。

【事務局】スクールバスを利用する子どもの人数は事前に把握しているので、実際に乗車する人数に応じて乗車定員を超えないバスを指定している。

⑫安田小学校（北仙道地区）児童登下校送迎業務（4309）

⑬中西中学校（二条地区）生徒登下校送迎業務（4310）

【事務局】この案件は、北仙道地区から安田小学校へ通学する児童と、二条地区から中西中学校へ通学する生徒を送迎するために、令和5年4月1日から令和6年3月31日の間に運行するタクシー運行業務である。

指名業者は、市内業者で大分類「運送」、小分類「旅客運送」に登録があり、「一般乗用旅客自動車運送事業」の許可を受けている業者を3者選定。

入札状況について

本件入札には、最低制限価格は設定されていない。

2者より応札があり、全者予定価格以下で、最低価格の応札であった、益田タクシー㈱が落札者となった。

【委員】先ほどのスクールバスと同様に、同種の業務について、同一業者が落札しているのに、地区によって落札率が大幅に異なる原因を確認するために選定した。予定価格の設定に問題があるのではないか。

【事務局】スクールバスは、国の定められた運賃があるが、タクシー運行業務の積算は、業者の見積もりを参考に、近年の物価高騰を考慮して予定価格を設定し

た。安田小学校のタクシー運行は初めてで、業者の積算が慣れていなかったため、落札率が低くなった可能性がある。

【委員】学校ごとに運行日数が違うのはなぜか。

【事務局】それぞれの学校行事の関係や利用する子どもの部活動の有無などで運行日数が変わる。

【委員】スクールバス運行業務もタクシー運行業務も、落札率が低かったのは安田地区だったのはなぜか。

【事務局】予定価格の積算方法が異なるので、偶然だと思われる。

⑭令和5年度久々茂コミュニティ広場外5公園浄化槽維持管理業務委託（4315）

【事務局】この案件は、市が管理する公園のうち久々茂コミュニティ広場ほか5件に設置している浄化槽に係る清掃及び汚泥抜き取りや保守点検等の業務委託を行う。

指名業者は、市内に事業所を有し、浄化槽清掃業の許可及び一般廃棄物し尿汚泥収集運搬業の許可を有する業者を3者選定。

入札状況について

本件入札には、最低制限価格は設定されていない。

3者より応札があり、2者予定価格超過で、1者予定価格以下であった、(株)ヤマハ環境開発が落札者となった。

【委員】いくつか浄化槽維持管理業務委託があるが、共通した3者が応札し、総じて高落札率である中で、どのように落札業者が決まったかを確認したいため選定した。

【事務局】予定価格は、必要な業務量は過去の実績から、単価は参考見積を基に積算したが、近年の物価高騰によって、前回よりも単価は上がっている。

指名業者については、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法という法律があり、下水道の整備が進み、浄化槽や汲み取りの世帯が減少することで、し尿等の収集・運搬業者が影響を受ける。法令の中で市町村は、合理化事業計画を策定することができるとされており、事業者の経営安定や計画的な転廃業のための合理化事業を実施し、自治体の責務として適正なし尿等の収集・運搬体制を維持するという目的で作られた。市としてこの法律の趣旨に則り、民間業者による収集・運搬体制を確保しながらも、過度な競争によって適正なし尿等処理が阻害されないように配慮して、浄化槽清掃業等の許可を有する市内の事業所を選定している。

【委員】浄化槽の業務委託の落札率が下がりにくいということか。

【事務局】法律の趣旨に則ると、落札率は低くなりづらい状況である。

⑮令和5年度農集ポンプ施設維持管理業務委託（4333）

【事務局】この案件は、農村部における汚水を処理場に送るのに必要なポンプ施設の維持管理業務である。

指名業者は、市内に事業所を有し、業務委託大分類「保守・管理」部門、小分類「機械設備保守」に届出のある業者を11者選定。

入札状況について

本件入札には、最低制限価格は設定されていない。

2者より応札があり、1者予定価格超過で、1者予定価格以下であった、山陰クボタ水道用材(株)益田営業所が落札者となった。

【委員】指名競争入札の中で予定価格が高い案件であり、多数の業者を指名したにもかかわらず、参加業者が少ないかったため選定した。

【事務局】この業務について、資格は必要ないが、特殊な設備のため専門知識は必要である。予定価格の設定は、実績の歩掛を公共単価で算出し、部品は参考見積を基に積算した。積算するために必要な内容は公表しているため、業者にとって積算は容易である。担当課としては、多くの業者に保守管理してもらいたいと思っているが、特殊な設備で、業者にとって精通してないと管理が難しいため、敬遠される傾向にある。指名業者が多いのは、様々な機械の設備保守の業者が登録していて、この業務に適していない業者が含まれているためである。

以上